

運動部活動安全対策マニュアル

令和8年4月

岩手県立宮古恵風支援学校

1 基本的な安全対策の考え方

(1) 学校における安全管理体制の構築

運動部活動については、担当指導者・生徒が部活動の意義や活動方針を理解するとともに、部活動におけるルール作りや情報共有など、部活動に関わる全ての者の協力体制のもと、組織的に取り組むことが重要である。

(2) 事故防止のための安全に配慮した適切な指導

指導者は生徒の健康状態を把握した上で、生徒の発達段階や能力に応じて安全に配慮した適切な指導を行うこと。生徒の体力や運動技能に合った無理のない指導計画を立案し、活動することが大切である。

部活動は、指導者立ち会いの下に行うことが原則であり、やむを得ず直接練習に立ち会えない場合には、他の指導者間や教員と連携、協力し、あらかじめ指導者と生徒との間で約束された安全面に十分に留意した内容や方法で活動すること。

(3) 施設・設備・用具等の安全点検と安全指導

部活動は、学校施設・設備・用具等を活用して行われるものであることから、活動に当たっては指導者と生徒がともに施設・設備の安全確認を行うことが大切である。

指導者は、生徒に、施設・設備及び用具の適切な使用や点検、確認の徹底が事故の未然防止につながることを認識させ、定期的な安全確認・点検を徹底すること。

(4) 学校事故の対応

事故の要因や危険を早期に発見し、速やかに除去するとともに、万が一、事故等が発生した場合に、適切な応急手当や安全措置ができるよう体制を確立して、生徒等の安全を確保することが大切である。校内で事故等が発生した場合には、原則として、その場に居合わせた教職員が速やかに応急手当を行い、必要に応じて救急車等を手配する。また、直ちに他の教職員の応援を求め、役割を分担して、周囲の状況を整え、生徒の安全を確保し動揺を抑える。

(5) 熱中症防止の対応

夏季の高温多湿下におけるスポーツ活動では、通常の活動より生徒の身体への負荷が増加することを認識することが重要である。

指導者は、練習内容には制限があり、高温多湿下では身体への負担が一層大きくなることを理解した上で、気象条件や環境要因に応じた練習計画を立てる必要がある。また、生徒の体調等を把握し、水分補給や日頃の健康管理の必要性を、生徒にも十分指導することが求められる。

(6) 熊などの野生動物への対応

屋外で活動している際、熊などの危害を及ぼす野生の動物が接近した場合には、即座に活動を休止し生徒を建物の中に避難させる。可能な限り上階に避難させ、教職員は扉や窓を閉めるなど、安全確保に努め、動物の侵入を防ぐ対策を講じる。

(7) 落雷等気象災害への対応

落雷等、気象災害の危険が予測される場合は、気象情報や自治体が発令する避難に関する情報等の把握に努める。

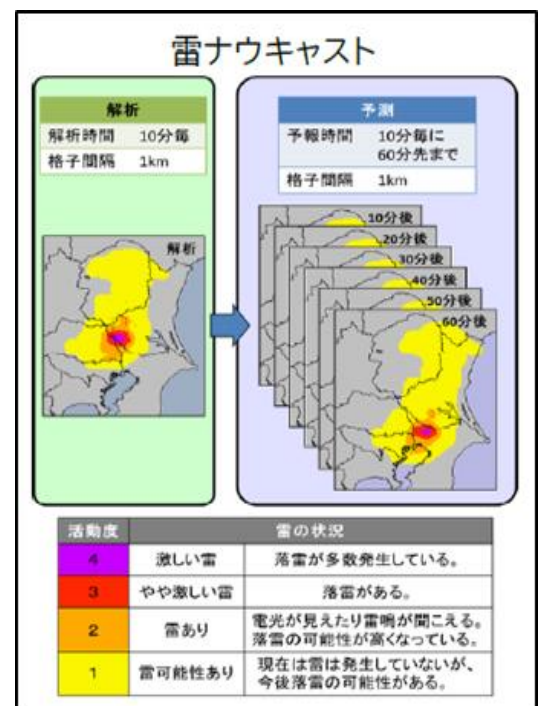
屋外で活動している際に雷鳴が近くで聞こえた場合は、速やかに屋内（鉄筋コンクリート建物が理想）に避難する。木造建築内部も基本的には安全だが、全ての電気器具、天井・壁から1m以上離れるとさらに安全である。屋内に避難できない場合は、低い場所を探してしゃがむなど、できるだけ姿勢を低くする（木や電柱からは4m以上離れる）とともに、地面との接地面をできる限り少なくする。

避難の終了及び屋外活動の再開については雷ナウキャストにより雷雲の動きなどに関する情報を十分に収集し、落雷の危険が去ったと認められる状態になったことを確認した上で判断する。

暑さ指数(WEGT)による対応(日本スポーツ協会「熱中症予防運動指針」)

暑さ指数 (WEGT)	気温 (参考)	熱中症予防運動指針	
31 以上	35℃以上	【運動は原則中止】	・特別の場合以外は運動を中止する。特に子供の場合には中止すべき。
28 以上 31 未満	31℃以上 35℃未満	【 嚴重警戒 】 激しい運動は中止	・熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 ・10～20分おきに休憩をとり、水分・塩分の補給を行う。 ・暑さに弱い人(体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など)は運動を軽減または中止する。
25 以上 28 未満	28℃以上 31℃未満	【 警戒 】 積極的に休憩	・熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。 ・激しい運動では30分おきくらいに休憩をとる。
21 以上 25 未満	24℃以上 28℃未満	【 注意 】 積極的に水分補給	・熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 ・熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
21 未満	24℃未満	【 ほぼ安全 】 適宜水分補給	・通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要

※熱中症警戒アラート(暑さ指数予測33以上)発表時は、現在の気温等に関わらず予防対策をとる。



《落雷等気象情報の収集について》

国土交通省 防災情報提供センター

- 防災情報
- [4] 雨雲の動き
- 下部マーク



(雷活動度 竜巻発生確度) が確認できます